

共創まちづくり論 最終レポートについて

最終レポートとして、下記の2題を課します。提出様式を守り、2題とも期限までに提出してください。

①酒田の地域資源を探す

初回の講義と同様、別紙シートに従ってあなたが酒田の地域資源とを感じるものを挙げてください。

[採点基準] 地域資源としてふさわしいものを挙げていれば、満点とします。

[提出物] 「酒田の地域資源を探す」シート

[提出期限] 7月31日（金）13時（厳守）

[提出場所] 小地沢研究室（G-4）前のレポート受付箱

②共創まちづくりについて考える

我々が暮らしている都市では様々な課題を抱えており、それぞれの課題に対して都市計画などの政策的な手法で対応したり、市民活動によって補完したりと、多様な知恵や技術が活かされています。その中で、市民活動の質が高まり、もしくは十分なサービスの量が供給できるとすれば、それは住民生活に欠かせない存在となるはずですが、酒田の中心市街地でも、地域活動への無関心化や人口減などによる地域コミュニティの衰退が始まっていますが、このうち船場町や北今町など、古くからの住宅地を具体的に想定し、どのような市民活動が地域課題の解決に寄与し得るか、提案してください。

*対象とする地区を具体的に定め、現状について分析し、その地区の地域課題を明示してください。データやヒアリング等を用いた現状分析を高く評価します。

*どんな市民活動を想定するかは、その地区の地域課題によって決定されます。福祉や保育、町並みづくりなど、地域の実情に応じた活動を設定してください。その上で、この活動の運営母体や運営方法、地域住民の自治活動や行政サービスなどと連携すべき点は何か、採算性や継続性はどうかなども検討することで、公共サービスや民間サービスの代替としての役割が高まります。複数の市民活動が多面的に展開されることを提案してもかまいません。

[採点基準] 上記の要点を的確に押さえているものを高く評価します。

[提出物] 上記レポートをA4用紙1～2枚にまとめること

※表紙は不要 ※レポートには学籍番号・氏名を必ず記入

※2枚にわたる場合には左上をホッチキスで留めること

※地域資源シートはホッチキスで綴じ込まないこと

[提出期限] 7月31日（金）13時（厳守）

[提出場所] 小地沢研究室（G-4）前のレポート受付箱

共創まちづくり論 今後のスケジュール

*7月23日（木）1時限目 第15回講義「まちづくりの実践に向けて」

*7月31日（金）13時 すべてのレポートの最終提出期限

- ・上記2題（7/9出題）
- ・中心市街地と郊外の評価シート（4/23出題→4/30提出期限）
- ・酒田まつりレポート（5/14出題→5/28提出期限）
- ・共感を導く演習（SWOT分析等）（6/25出題→7/9提出期限）

共創まちづくり論 評価基準

*すべてのレポートを提出していることを評価の前提とします。

*授業への出席状況も評価対象です（配点60点）。

欠席や遅刻は機械的に減点対象としています（欠席2回までは採点に影響しないよう考慮済み）。

■酒田の地域資源を探す

学籍番号	氏名	あなたは今、どこ（市町村）に住んでいますか？	その市町村に住み始めたのはいつですか？
		市・町・村 在住	西暦 年 月

○今、あなたが暮らしている「酒田市」について、教えてください

- ・あなたが暮らしている地域（公益大の周辺、借りているアパートの周辺など）のうち、特に小学校の学区程度の広さを思い浮かべてください。
- ・その範囲で、地域資源と思われるものを10個、挙げてください。
- ・なぜそれを地域資源に挙げたか、教えてください。

あなたが感じる酒田市の地域資源	それを地域資源に挙げた理由（簡単に書いて結構です）
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	